

観光地域づくり法人形成・確立計画

記入日：令和3年11月16日

1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを○ で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人 の名称	特定非営利活動法人NPO砂浜美術館	
マーケティング・マネ ジメント対象とする 区域	高知県幡多郡黒潮町	
所在地	高知県黒潮町	
設立時期	平成15年9月4日	
職員数	18人【常勤18人】	
代表者（トップ人 材：法人の取組につ いて対外的に最終的 に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 村上 健太郎（専従） （出身組織名） NPO砂浜美術館	平成23年よりNPO砂浜美術館の理事長として、 地域の観光振興の取組を行っている。また、旅行 業取扱免許の取得者である。
データ収集・分析等 の専門人材（CM O：チーフ・マーケ ティング・オフィサ ー ※必ず記入すること	（氏名） 塩崎 草太（専従） （出身組織名） NPO砂浜美術館	一般企業での営業・商品販売の経験が長く、幅広 く来訪者のデータ収集・分析が可能である。
財務責任者 （CFO：チーフ・ フィナンシャル・オ フィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 山本 あやみ（専従） （出身組織名） NPO砂浜美術館	事務局長として、会計・経理を担当。
スポーツ部・部長 ※各部門責任者のう ち専従の者について は、氏名の右横に 「専従」と記入す ること	（氏名） 山崎 悠（専従） （出身組織名） NPO砂浜美術館	黒潮町の観光振興の柱であるスポーツツーリズム 推進の中心スタッフとして、宿泊実績を伸ばすな ど、プロモーションに高い能力をもつ。
ホエールウォッチ ング・他体験プログラ ム担当者	（氏名） 大迫 綾美（専従） （出身組織名） NPO砂浜美術館	海洋生物について専門的な知識をもち、ホエール ウォッチングをはじめとした海プログラムのガイ ド経験や、旅行エージェントとのつながりを活か し、地域の体験プログラムの実施・開発を担当し ている。

(別添) 様式 1

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>◆高知県幡多郡黒潮町 産業推進室 ・観光振興に関わる基盤整備、政策立案 企画調整室 ・行政内部の横断的推進体制の整備 ・地方創生に関する窓口</p>						
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>◆一般社団法人黒潮町観光ネットワーク ・観光戦略の策定、提言 ・事業推進に向けた経営資源向上 ・事業に携わる人材確保、育成 ・一般観光全般 ◆一般社団法人幡多広域観光協議会 ・広域エリア（高知県西部）の観光産業の推進 ◆高知県観光コンベンション協会 ・県単位での観光産業の推進 ◆一般社団法人四国ツーリズム創造機構 ・四国単位での観光産業の推進</p>						
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】② 一般社団法人黒潮町観光ネットワーク (概要) 観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政が参画する協議会を設置 〔参考〕登録要件 ①取締役、理事など観光地域づくり法人の意思決定に関与できる立場で行政、文化、スポーツ、農林漁業、交通等の幅広い分野の関係団体の代表者が参画 ②観光地域づくり法人が主導して行政や関係団体をメンバーとするワーキンググループなどの委員会等を設置</p>						
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>観光関連の専門家招致による勉強会の開催（4回開催）。黒潮町観光ネットワーク会員を中心に参加（2020年度実績）。 ① 宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン勉強会 (講師:幡多福祉保健所衛生環境課) ② ワークーションについての勉強会 (講師:井門観光研究所 井門隆夫氏) ③ 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーション人材育成 (講師:屋久島野外活動センター 代表 松本毅氏) ④ 体験プログラム安全管理マニュアル作成勉強会 (講師:高知県ガイド安全マニュアルサポートセンター 小松一之氏)</p>						
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <table border="1" data-bbox="459 1554 1426 1986"> <thead> <tr> <th data-bbox="459 1554 644 1599">事業</th> <th data-bbox="649 1554 1426 1599">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="459 1606 644 1785">情報発信・プロモーション</td> <td data-bbox="649 1606 1426 1785"> <p>・黒潮町 DMO 推進事業 ・黒潮町観光振興事業 ＜具体事業内容＞ 各種イベントの実施や観光客の実態調査を実施。実施事業について、Web・SNSまた口コミでの情報発信を行っている。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="459 1792 644 1986">受入環境の整備</td> <td data-bbox="649 1792 1426 1986"> <p>・高知県立土佐西南大規模公園事業 ＜具体事業内容＞ スポーツツーリズムでも使用しているスポーツ施設を含む公園管理事業。利用者の声をもとに施設の改善等を要望し、受入環境整備に努めている。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	事業	実施概要	情報発信・プロモーション	<p>・黒潮町 DMO 推進事業 ・黒潮町観光振興事業 ＜具体事業内容＞ 各種イベントの実施や観光客の実態調査を実施。実施事業について、Web・SNSまた口コミでの情報発信を行っている。</p>	受入環境の整備	<p>・高知県立土佐西南大規模公園事業 ＜具体事業内容＞ スポーツツーリズムでも使用しているスポーツ施設を含む公園管理事業。利用者の声をもとに施設の改善等を要望し、受入環境整備に努めている。</p>
事業	実施概要						
情報発信・プロモーション	<p>・黒潮町 DMO 推進事業 ・黒潮町観光振興事業 ＜具体事業内容＞ 各種イベントの実施や観光客の実態調査を実施。実施事業について、Web・SNSまた口コミでの情報発信を行っている。</p>						
受入環境の整備	<p>・高知県立土佐西南大規模公園事業 ＜具体事業内容＞ スポーツツーリズムでも使用しているスポーツ施設を含む公園管理事業。利用者の声をもとに施設の改善等を要望し、受入環境整備に努めている。</p>						

(別添) 様式 1

	<p>観光資源の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度 自然資源を活かすエコツーリズム・インタープリテーション人材育成事業（環境省） ＜具体事業内容＞ オンライン講座の受講と、講師の現地訪問を組み合わせ、ホエールウォッチングガイド向けのスキルアップや、ツアーの磨き上げを行った。 <p>(定量的な評価)</p> <p>コロナウイルス感染対策を行い実施することはできたが、実績は大幅減となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツ合宿受入れによる宿泊数 H23年度 357泊 → H27年度 5,119泊 → 平成31年度 11,964泊 → 令和2年度 4,840泊 ◆イベントの来場者数 ・Tシャツアート展 H22年度 11,000人 → H27年度 29,000人 → 平成31年度 34,641人 → 令和2年度 7,917人
<p>実施体制</p> <p>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>NPO 砂浜美術館が、一次産業団体、商工会、交通機関、大学機関など多様な関係者が参画する黒潮町観光ネットワーク(2021年10月現在で会員数43団体)、黒潮町と密接に連携した運営を実施する。3者で毎月定例会を実施し、情報共有、役割分担を行っている。</p> <p>(実施体制図)</p>

2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域



【区域設定の考え方】

本申請のエリアは高知県幡多郡黒潮町であるが、事業実施においては、高知県西部の幡多地域の市町村（四万十市、土佐清水市、宿毛市、大月町、三原村）や幡多広域観光協議会との連携が重要である。特に、宿泊に関しては黒潮町内の宿泊施設の収容人数は限られており、隣接する四万十市等との連携も重要である。またスポーツ施設も幡多エリアに点在しており、規模の大きな大会では、2会場での実施も可能である。

【観光客の実態等】

令和元年度のデータで、黒潮町年間観光入込客数は100万人を超えたが、コロナウイルスの影響を受けた令和2年度は約80万人であった。そのうち8割は地域内の道の駅など通過型の施設利用者である。平成28年に町内道の駅で実施した来訪者調査（※1）が通常時の傾向と考えられる。

- ・ 県外（50.7%）の方が、県内（49.3%）より若干高い。
- ・ 高知県の訪問者のうち、高知市からの訪問者は約40%
- ・ 高知県を除く県外訪問者は、四国3県（33.4%）と近畿（29.5%）からの訪問者が多い。
- ・ 都道府県別は、上位5府県（愛媛県、大阪府、香川県、兵庫県、岡山県）で全体の60%弱を占める。
- ・ 旅行形態では、夫婦・カップル（37.3%）とファミリー層（36.2%）で約70%を占める。

また1万人当たりの観光消費額は4,683万円で、県民客平均3,307円、県外客平均9,678円となっている。また、黒潮町における誘発効果倍率は1.42であり（高知大学と連携して調査）、高知県の1.52より0.1ポイント減少している。宿泊なしに対して、宿泊ありの観光客の消費額は3.5倍になっている。地域内の資金循環がまだ改善の余地があると考えている。

（※1） 調査対象：道の駅ビオスおおがた、道の駅なぶら土佐佐賀来訪者
調査機関：平成28年8月20日～平成29年2月12日（計21回）
サンプル数：1,885

しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で、実態に変化があった。

- ・ 旅行形態では、一人旅が20%を占め増加した。
- ・ 高知県在住者のうち8割以上が高知市を中心とした中部からの来訪者であった。

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

◆スポーツ

高知県土佐西南大規模公園は、体育館やサッカー場、球技場等を有し、10 数種目のスポーツを実施することができる。またスポーツ施設には砂浜が隣接し、砂浜を使ったトレーニングの実施も可能。

◆イベント・自然 地域の自然資源を活用したイベントの開催

年間通して、自然資源を活かした下記のイベントを実施している。

※Tシャツアート展(5月)・はだしマラソン大会(5月)・
いごっそうアクアスロン大会(7月)・シーサイドギャラリー(8月)
土佐佐賀のもどりガツオ祭(10月)・潮風のキルト展(11月)

◆自然体験

天日塩づくり体験・カツオのたたきづくり体験・吹きガラス体験・
ホエールウォッチング・ビーチコーミング・防災学習プログラム・サーフィン体験
若山楮紙漉き体験

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

ホテル・旅館：町内 4 施設 最大 225 名

(ネストウエストガーデン土佐・土佐佐賀温泉こぶしのさと・ホテルユートピア・ホテル海坊主)

民宿：町内 2 施設 最大 80 名

(民宿みやこ・民宿たかはま)

民泊：町内 6 施設 最大 49 名

(しらたがわ・ななさと・魚影・おおまち・かじか・レアリスタ)

その他：町内 2 施設 最大 91 名 集落活動センター(地域集落が経営)

(かきせ・であいの里蜷川)

【利便性：区域までの交通、域内交通】

高知県西部の幡多エリアへ訪れるルートは、公共交通、また 2 次交通の整備が充分でないことから、約 70%が車利用である。その中でも自家用車の割合が多い。

【外国人観光客への対応】

- ・ JNTO 認定外国人観光案内所のカテゴリー1 に登録
道の駅なぶら土佐佐賀・道の駅ビオスおおがた
- ・ 黒潮町の観光パンフレットの 5 ケ国語対応(日本・韓国・英語・簡体語・繁体語)
- ・ 黒潮町の体験パンフレットの 4 ケ国語対応(日本・英語・簡体語・繁体語)

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光による地域への経済波及効果を測るため。	道の駅利用者やイベント会場、クーポン利用者等の来訪者へのアンケート
延べ宿泊者数 (※1)	観光による地域への経済波及効果を測るため。	対象事業者からのヒヤリング
来訪者満足度 (スポーツ・一般)	リピート率向上のための方策を検討するため	・スポーツ合宿・大会参加チームへのアンケート調査 ・道の駅利用者やイベント会場、クーポン利用者等の来訪者へのアンケート
リピート率 (スポーツ・一般)	効果的な営業戦略の確立と、旅行消費額の増大を図る	・スポーツ合宿・大会参加チームの集計 ・道の駅利用者やイベント会場、クーポン利用者等の来訪者へのアンケート
スポーツ合宿大会の宿泊者数	観光による地域への経済波及効果を測るため	宿泊手配数
自然体験参加者数 (※2)	観光による地域への経済波及効果を測るため。	対象事業者からのヒヤリング
イベント来場者数 (※3)	観光による地域への経済波及効果を測るため。	イベント会場でのカウント

(※1) 黒潮町内の 14 施設

(※2) 天日塩づくり体験・カツオのたたき作り体験・吹きガラス体験・ホエールウォッチング・ビーチコーミング・防災学習プログラム・サーフィン体験・若山楮紙漉き体験

(※3) T シャツアート展 (5 月)・シーサイドギャラリー夏 (8 月)・潮風のキルト展 (11 月)

4. 戦略

(1) 地域における観光を取り巻く背景

黒潮町では、近年増加傾向にあるスポーツツーリズムを町の成長産業と位置付け、町内における消費活動の拡大につながる取組を展開するとともに、一般観光についても、町のシンボルの一つであるカツオや、海・山・川に恵まれた豊かな自然環境を活かした誘客を強化している。また、過去何度も津波に襲われたこの土地で、自然と共存している黒潮町ならではの、「防災（ストーリー）」を新たな観光資源と捉え、観光商品の企画・立案を進めている。

こうした観光振興の取組を、地域内の様々な関係者による観光推進組織である（一社）黒潮町観光ネットワークと黒潮町と連携しながら推進し、一般観光客やスポーツツーリズム客、教育旅行客の誘客を図ることで、地域への経済波及効果を高めていくこととする。

(2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none"> 充実したスポーツ施設 広大な砂浜や松原などの自然環境 砂浜美術館という考え方 カツオに代表される食の豊かさ 	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化による産業の衰退 アクセスの悪さ（空港から2時間）
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none"> 高速道路の延伸 南海地震対策によるプラスイメージ 	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの蔓延 南海地震の情報によるマイナスイメージ 貸切バス代金の高騰（燃料代も含む）

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

(3) ターゲット

○第1ターゲット層 スポーツツーリズム客（主はサッカー・野球・ゴルフにくる小学生から大学生（団体）、社会人チーム）
○選定の理由 高知県立土佐西南大規模公園の充実したスポーツ施設への来訪が年々増加傾向であり、一般観光客のオフシーズン対策（冬季）としても有効。また平成29年7月には人工芝グラウンドが開設され、半径約300mの範囲内で天然芝2面・人工芝2面の利用が可能になった。四国内でも他にない環境である。そして、暖かい気候を強みとして冬場の誘客が可能であり、12～3月の閑散期対策にも有効である。
○取組方針 サッカーに関しては、地域の宿泊施設のキャパシティーより多くの人たちに利用してもらう為、グラウンドの過度な利用制限を行わない。よって、アマチュアレベルでの誘客を基本とした取組みを行っているが、現状の環境でも可能なプロチームの受入も検討している。
○ターゲット層 自然体験を求める子ども連れファミリー層
○選定の理由 黒潮町への訪問属性ではファミリー層が多く（36.2%）、高知県を訪れるファミリー層の目的は自然を求める割合が高いため、黒潮町の強みである自然環境や自然を活かした体験（かつおのたたきづくり、ホエールウォッチング等）をファミリー層に訴求していく。
○取組方針

(別添) 様式 1

<p>特に、高知県として展開している「リョーマの休日キャンペーン」や、高知関西連携強化戦略の流れをうまく活用する。</p>	
<p>○ターゲット層 視察・研修・教育旅行者</p>	
<p>○選定の理由 2012 年内閣府が、南海トラフ巨大地震発災時に、黒潮町において最大 34m の日本一の津波高が想定されることを公表した。その後の防災対策等により、黒潮町では防災に関する視察、研修の受入れが増加。防災を新たな観光資源として捉えた取り組みを進めている。被災地としての防災ツーリズムではなく、「災害に備える」視点で「人と自然のつきあい方を考える」防災プログラムは他地域にはない差別化できる取組である。また、他の体験プログラムとの組み合わせによって、提案の幅が広がる。</p>	
<p>○取組方針 すでに訪れている視察団体をとりにみながら、広報ツールを作成 (Web・パンフレット)。企業、教育旅行を中心とした旅行エージェントに対してプロモーションを行う。</p>	
<p>○ターゲット層 女性層・カップルなどの若年層</p>	
<p>○選定の理由 黒潮町への訪問属性では夫婦・カップルの割合が最も高く (37.3%)、また、町で最も集客のあるイベント「T シャツアート展」の若年層女性認知度は、同年代男性と比較して 2 倍以上になっている。</p>	
<p>○取組方針 SNS・ロコミが大きな広報媒体となるターゲット層であり、これを活用する。</p>	
<p>○ターゲット層 外国人旅行者</p>	
<p>○選定の理由 全国的に外国人旅行者の地方部への宿泊が増加しており、四国内・高知県においても年々増加している。ホエールウォッチングの外国人乗船客も増えてきており、今後も伸びが予想される。(2020 年度はコロナ禍で全く動きがなかった)</p>	
<p>○取組方針 外国人旅行者の中でもターゲットを絞った取組 (ホエールウォッチング、防災ツーリズム等) を軸とした誘客を図る。</p>	

(4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>長さ 4 km の入野海岸を美術館に見立て、今まで当たり前として見過ごしてきた風景や、日常の一場の一幕を「作品」として考える砂浜美術館のコンセプト、「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。」は、継続した取り組みにより認知度が高く、他と差別化できるコンセプトである。</p>
②コンセプトの考え方	<p>このコンセプトを黒潮町全体の観光コンセプトとして活かし、黒潮町にある豊かな自然や食、スポーツ環境、文化、体験などの地域資源を「砂浜美術館の作品」「黒潮町の作品」として捉え、コンセプトに基づいて、その観光資源のストーリーをしっかりと伝えることで誘客を図る。</p> <p style="text-align: center;">黒潮町の観光資源 = 「砂浜美術館の作品」、「黒潮町の作品」 (※作品としてのストーリーを伝える)</p>

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	①黒潮町観光政策推進会議（毎月1回開催） 黒潮町・黒潮町観光ネットワーク・NPO 砂浜美術館の3者で進捗管理や方向性について協議 ②黒潮町観光ネットワーク役員会（年4回程度）・総会（年1回）・全体会（年1回）
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	利用客からのアンケート調査を通じて得た情報を、各施設にフィードバックする。また、黒潮町観光ネットワーク会員からの要望に応じた勉強会、研修会の開催によって、サービス維持に努めている。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	道の駅ビオスおおがた情報館、また情報館に事務所をおくNPO 砂浜美術館（スポーツツーリズム・ホエールウォッチング・イベント）、黒潮町観光ネットワーク（一般観光・団体旅行）をワンストップ窓口として、地域の観光情報を提供する。 ※NPO 砂浜美術館と黒潮町観光ネットワークは同じ事務所で業務を行っており、日々情報共有に努めている。

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

6. KPI (実績・目標)

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

(1) 必須KPI

指標項目		2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
●旅行消費額 (円/人) A. 宿泊なし	目標	3,373 (-)	3,406 (-)	3,440 (-)	3,473 ()	3,507 ()	3,542 ()
	実績	1,247 (-)	3,552 (-)	3,732 (-)	()	()	()
旅行消費額 (円/人) B. 宿泊あり	目標	- (-)	- (-)	12,445 (-)	12,568	12,692	12,818
	実績	- (-)	12,322 (-)	12,513 (-)			
●延べ宿泊者数 (人)	目標	23,768 (-)	24,798 (-)	24,497 (-)	24,786 ()	25,077 ()	25,369 ()
	実績	22,538 (-)	21,864 (98)	12,393 (-)	()	()	()
●来訪者満足度 (%) A. スポーツ	目標	90%以上 (0)	90%以上 (0)	90%以上 (0)	90%以上 ()	90%以上 ()	90%以上 ()
	実績	99 (0)	99 (0)	99 (0)	()	()	()
来訪者満足度 (%) B. 一般	目標	- (-)	- (-)	90%以上 (-)	90%以上	90%以上	90%以上
	実績	- (-)	93 (-)	87 (-)			
●リピーター率 (%) A. スポーツ	目標	70%以上 (-)	70%以上 (-)	70%以上 (-)	70%以上 ()	70%以上 ()	70%以上 ()
	実績	63 (-)	75 (-)	85 (-)	(-)	(-)	(-)
リピーター率 (%) B. 一般	目標	- (-)	- (-)	50%以上 (-)	50%以上 (-)	50%以上	50%以上
	実績	- (-)	52.3 (-)	50 (-)			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

旅行消費額については、地元大学機関に協力を得て調査を行う。来訪者満足度とリピーター率は、これまで観光振興の柱になっているスポーツツーリズムに焦点をあて数値設定したが、令和2年度からは一般観光についても取り入れた。(コロナの状況により R3 は随時検討)

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

商工会等と連携し、地域内の商店での消費額を増やすことを考える。2018年度比で1%ずつ増加。

●延べ宿泊者数

現在減少傾向にある一般観光の宿泊者数を1%増加に転じ、スポーツツーリズムでの宿泊増加分を上乗せしていく。視察研修・修学旅行による宿泊増を検討していく。

●来訪者満足度

合宿・大会にこられるチーム代表者を対象として、毎年アンケート調査を実施。設問中に「また施設を利用したいか」の項目を設けており、利用したいと回答したチームの割合を目標値として設定。

●リピーター率

現在黒潮町の観光振興の柱になっているスポーツツーリズムに焦点を絞っている。目標としているスポーツツーリズムでの15,000泊達成までは、積極的に新規チームも増やし、うち7割のリピートを目指す。

(2) その他の目標

指標項目		2018	2019	2020	2021	2022	2023
		(H30) 年度	(R1) 年度	(R2) 年度	(R3) 年度	(R4) 年度	(R5) 年度
●スポーツ合宿・大会参加者数(泊)	目標	13,370	14,400	15,000	15,000	15,000	15,000
	実績	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
●自然体験参加数(人)	目標	12,021	11,773	4,840			
	実績	(0)	(0)	(0)	()	()	()
●イベント来場者数(人)	目標	5,450	6,010	5,059	5,108	5,157	5,206
	実績	(-)	(-)	(-)	()	()	()
●イベント来場者数(人)	目標	3,783	4,324	2,662			
	実績	(-)	(-)	(-)	()	()	()
●イベント来場者数(人)	目標	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
	実績	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		33,048	48,230	9,760			
		(-)	(-)	(-)	()	()	()

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

行政と一体になった取組を推進していくため、黒潮町が策定する「黒潮町総合戦略アクションプラン」の計画と整合性をもった設定とする。また、観光入込客数を細分化することにより、より具体的な施策につなげることが必要である。(コロナの状況により R3 は随時検討)

【設定にあたっての考え方】

●スポーツツーリズムによる宿泊者数

現在の施設、受入体制を考えると年間 15,000 人泊が上限と考えており、令和 2 年度での達成を目標としていた。事業関係者が参加する黒潮町スポーツ推進会議で目標設定している。旅行消費額をあげるために、社会人・プロもカテゴリーとして検討する。

●自然体験参加者数

現在、体験プログラムの柱となる、ホエールウォッチングとカツオのたたきづくり体験を中心にアクションプランをたて、近年増加傾向にある防災学習と体験プログラム全体への波及を含め数値設定し、その増加分を加算している。

●イベント来場者数

現状の体制、予算規模では 50,000 人の達成と、その後も維持することを目標とし、この 50,000 人の旅行消費額を増加させるしかけを考える。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に(1)収入、(2)支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

(1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2018(H30) 年度 ※実績	208,421(千円)	【高知県・委託金】51,714千円 【黒潮町・委託金】41,952千円 【その他の委託業務】3,684千円 【旅行業】76,288千円 【事業収入】29,426千円 【イベント協力金・寄付金】5,232千円 【その他の収入】125千円
2019(R1) 年度 ※実績	216,374(千円)	【高知県・委託金】51,602千円 【黒潮町・委託金】52,650千円 【その他の委託業務】600千円 【旅行業】76,592千円 【事業収入】28,614千円 【イベント協力金・寄付金】4,001千円 【その他の収入】2,315千円
2020(R2) 年度 ※実績	192,674(千円)	【高知県・委託金】56,337千円 【黒潮町・委託金】64,996千円 【その他の委託業務】370千円 【旅行業】38,067千円 【事業収入】25,691千円 【イベント協力金・寄付金】1,723千円 【その他の収入】5,490千円
2021(R3) 年度	214,728(千円)	【高知県・委託金】52,910千円 【黒潮町・委託金】52,328千円 【その他の委託業務】1,100千円 【旅行業】80,445千円 【事業収入】23,095千円 【イベント協力金・寄付金】3,750千円 【その他の収入】1,100千円
2022(R4) 年度	214,728(千円)	【高知県・委託金】52,910千円 【黒潮町・委託金】52,328千円 【その他の委託業務】1,100千円 【旅行業】80,445千円 【事業収入】23,095千円 【イベント協力金・寄付金】3,750千円 【その他の収入】1,100千円
2023(R5) 年度	214,728(千円)	【高知県・委託金】52,910千円 【黒潮町・委託金】52,328千円 【その他の委託業務】1,100千円 【旅行業】80,445千円 【事業収入】23,095千円 【イベント協力金・寄付金】3,750千円 【その他の収入】1,100千円

(2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2018 (H30) 年度 ※実績	207,792 (千円)	【一般管理費】 62,447 千円 【誘客活動・販促ツール作成】 2,204 千円 【旅行代金支払】 67,973 千円 【イベントの開催費】 7,984 千円 【公園施設管理費】 53,139 千円 【番組制作費】 3,838 千円 【商品仕入】 4,393 千円 【その他の事業費】 5,814 千円
2019 (R1) 年度 ※実績	215,175 (千円)	【一般管理費】 69,466 千円 【誘客活動・販促ツール作成】 2,578 千円 【旅行代金支払】 69,090 千円 【イベントの開催費】 9,444 千円 【公園施設管理費】 47,704 千円 【番組制作費】 3,547 千円 【商品仕入】 3,884 千円 【その他の事業費】 9,462 千円
2020 (R2) 年度 ※実績	185,137 (千円)	【一般管理費】 68,439 千円 【誘客活動・販促ツール作成】 1,033 千円 【旅行代金支払】 37,160 千円 【イベントの開催費】 10,577 千円 【公園施設管理費】 50,016 千円 【番組制作費】 3,444 千円 【商品仕入】 3,464 千円 【その他の事業費】 11,004 千円
2021 (R3) 年度	214,728 (千円)	【一般管理費】 68,113 千円 【誘客活動・販促ツール作成】 3,000 千円 【旅行代金支払】 72,400 千円 【イベントの開催費】 9,293 千円 【公園施設管理費】 50,631 千円 【番組制作費】 2,000 千円 【商品仕入】 2,000 千円 【その他の事業費】 7,291 千円
2022 (R4) 年度	214,728 (千円)	【一般管理費】 68,113 千円 【誘客活動・販促ツール作成】 3,000 千円 【旅行代金支払】 72,400 千円 【イベントの開催費】 9,293 千円 【公園施設管理費】 50,631 千円 【番組制作費】 2,000 千円 【商品仕入】 2,000 千円【その他の事業費】 7,291 千円
2023 (R5) 年度	214,728 (千円)	【一般管理費】 68,113 千円 【誘客活動・販促ツール作成】 3,000 千円 【旅行代金支払】 72,400 千円 【イベントの開催費】 9,293 千円 【公園施設管理費】 50,631 千円 【番組制作費】 2,000 千円 【商品仕入】 2,000 千円【その他の事業費】 7,291 千円

(別添) 様式 1

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- ・観光調査、設計、戦略策定、プロモーション等について行政からの委託事業の確保
- ・現在実施しているスポーツツーリズムによる宿泊手配業務の取扱の増加
- ・体験プログラムを軸とし新たな旅行商品の企画造成や販売による自主財源の確保

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

高知県黒潮町では、観光振興にあたり、町、NPO 砂浜美術館、黒潮町観光ネットワークの3者で役割分担し、推進体制を構築している。月1回の観光政策推進会議により情報共有しながら、連携して取組を進めている。本法人は、地域DMO法人として観光調査や研修会等の開催による事業者育成などの重要な役割を担っており、観光振興を推進するうえで必要不可欠な組織となっている。

9. マーケティング・マネジメント対象区域が他の地域連携DMOや地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

地域連携DMOの一般社団法人幡多広域観光協議会との役割分担について

- ①教育旅行に関する窓口は幡多広域観光協議会
- ②弊法人が管理しているスポーツ施設を活用したスポーツツーリズムにおいて、市町村をまたいだ大会合宿誘致の窓口はNPO 砂浜美術館

年2回程度開催される、幡多広域観光協議会の担当者会や黒潮町スポーツツーリズム推進会議に、お互い参加することで情報共有を行っている。

10. 記入担当者連絡

担当者氏名	村上健太郎
担当部署名（役職）	理事長
郵便番号	789-1911
所在地	高知県幡多郡黒潮町浮鞭 3573-5
電話番号（直通）	0880-43-4915
FAX番号	0880-43-1527
E-mail	murakami@sunabi.com

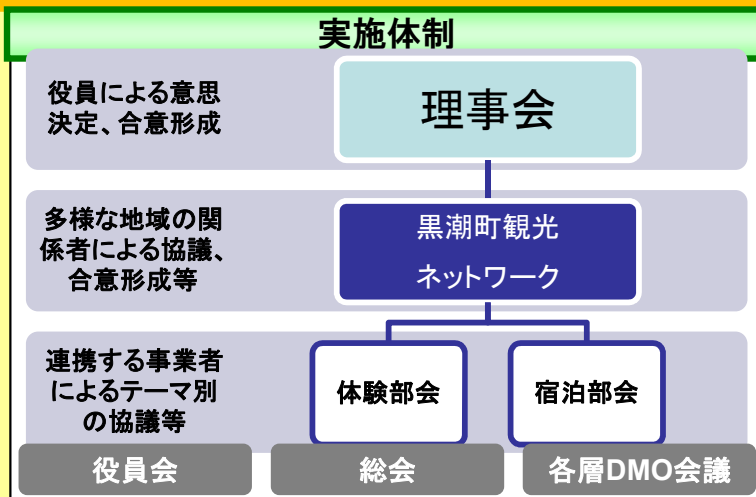
11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	黒潮町
-----------	-----

(別添) 様式 1

担当者氏名	福岡和加
担当部署名 (役職)	産業推進室観光係 係長
郵便番号	789-1931
所在地	高知県幡多郡黒潮町入野 5893 番地
電話番号 (直通)	0880-43-2113
F A X 番号	0880-43-2060
E - m a i l	10280020@town.kuroshio.lg.jp

【区域】 高知県黒潮町
 【設立日】 2003年9月4日
 【登録日】 2018年12月18日
 【代表者】 村上 健太郎
 【マーケティング責任者(CMO)】 塩崎草太
 【財務責任者(CFO)】 山本 あやみ
 【職員数】 18人
 (常勤18人(うち正職員10人))
 【連携する主な事業者】
 黒潮町観光ネットワーク・一般社団法人幡多広域
 観光協議会・高知県観光コンベンション協会・
 一般社団法人四国ツーリズム創造機構



マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】

- ①自然資源を活用したイベント (Tシャツアート展・潮風のキルト展等)
- ②自然体験(ホエールウォッチング・カツオのたたきづくり・天日塩づくり)
- ③各種スポーツ施設
サッカー場、体育館、野球場
- ④まちの風景
長さ4km砂浜、松原

高知県

黒潮町

合意形成の仕組み

【該当する登録要件】(該当番号) ②
 【概要】
 体験・宿泊等観光関連事業者、飲食店、交通事業者、金融機関、行政等43団体が参画する(一社)黒潮町観光ネットワークで合意形成を行う。年4回程度の役員会と、総会を含め年2回の全体会で議論。

戦略

【主なターゲット】

- ①スポーツ合宿・大会への団体
- ②自然体験を求める家族
- ③視察、研修、教育旅行の団体

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

- ①アマチュアレベルの誘客を基本とし、グラウンドの過度な利用制限は行わない。
- ②黒潮町への訪問属性で36.2%を占めるファミリー層に訴求していく。
- ③防災を新たな観光資源としてとらえ、団体研修・視察の受入れを行う。

法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】

- ・ターゲットエリアでのPR(動画活用等)強化
- ・OTAや口コミサイトの活用
- ・スポーツ関係者ネットワークの拡充
- ・防災学習を核としたセールスツールの作成

【観光資源の磨き上げ】

- ・体験プログラムの核となるホエールウォッチングにおいて、ガイドを配置。

【受入環境の整備】

- ・スポーツ施設周辺のトイレの回収や、サッカー場等の設備の充実を推進
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための受入ガイドラインを作成

観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

黒潮町観光ネットワークにおいて、年4回程度の役員会、2回の全体会で状況共有と議論を行っている。また、毎月、黒潮町、黒潮町観光ネットワーク、NPO砂浜美術館で黒潮町観光政策推進会議を実施している。

KPI(実績・目標) ※()内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目		2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
旅行消費額 (円/人)	目標	3,373 (0)	3,406 (0)	3,440 (0)	3,473 ()	3,507 ()	3,542 ()
	実績	1,247 (0)	3,552 (0)	3,732 (0)	()	()	()
延べ宿泊者数 (人)	目標	23,768 (-)	24,798 (-)	24,497 (-)	24,786 ()	25,077 ()	25,369 ()
	実績	22,538 (-)	21,864 (98)	12,393 (-)	()	()	()
来訪者満足度・スポーツ(%)	目標	90%以上 (-)	90%以上 (-)	90%以上 (-)	90%以上 ()	90%以上 ()	90%以上 ()
	実績	99 (-)	99 (-)	99 (-)	()	()	()
リピーター率・スポーツ(%)	目標	70%以上 (-)	70%以上 (-)	70%以上 (-)	70%以上 ()	70%以上 ()	70%以上 ()
	実績	63 (-)	75 (-)	85 (-)	()	()	()

活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 収益事業(旅行業、公園指定管理、映像制作等)
 その他イベント協力金等 約192百万円

【総支出】 185百万円(一般管理費68百万円、事業費117百万円)
 ※令和2年度決算

【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】
 公園(スポーツ施設含む)指定管理・旅行業・町の観光振興委託